

公共選択学会会員 各位

2018年12月3日

公共選択学会会長就任の報告

公共選択学会会長 長峯 純一

2018年12月1日～2日、横浜商科大学において公共選択学会第22回全国大会が開催されました。会則および規程に従い、大会初日12月1日の総会において新理事および新監事が報告され、その後開催された新理事会において私・長峯が新会長に選任されました。

ここまでの経緯をご報告しますと、理事・監事の選出は、規程に従い2018年8月1日に理事選挙公告が行われ、選挙管理委員会により理事選挙が実施され、まず14名の公選理事予定者が選出されました。その後、公選理事予定者による理事・監事選考委員会が開催され、推薦理事予定者14名と監事予定者2名が選出され、上述したように大会総会において理事・監事への就任となり、新理事会において理事の互選によって私・長峯が会長に選任されました。

今回の総会においては会則が何点か改正され、その中で学会執行部として、会長と専務理事を補佐する事務局担当理事（二名以内）を理事の中から選出することが可能になりました。新理事会においては、専務理事に和田淳一郎会員、事務局担当理事に矢口和宏会員と湯之上英雄会員が承認され、新しい学会執行部のスタートとなりました。私自身の過去3年間の専務理事としての経験からも、多様な学会業務を確実に遂行していくための4名体制は大変心強い限りです。

さて本学会は、規模的に厳しい財政運営のもと、効率的かつ有効な学会活動を求められています。また日本の公共選択研究の黎明期から今日まで、本学会の中心として活躍されてきた先輩の先生方が、ここ数年の間に定年を迎えつつあります。私を含めた次の世代は、先輩の先生方がこれまで蓄積してきた公共選択研究の財産を維持・活用し、さらなる発展へとつなげていくことが、この執行部に期待される使命でもあると受け止めています。

これからの3年間、学会活動を活性化し、公共選択研究の水準向上を目指して、可能な限り尽力する所存であります。そのためには、会員の皆さんの協力が是非とも必要になりますので、よろしく願いいたします。